

郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年8月31日現在

今月の重点活動

■水稲 郡上産米ブランド化研究会が視察研修会を開催

郡上産米ブランド化研究会の視察研修会が8月8日に開催され、会員20名、関係機関（JA、市、農林事務所）6名が参加した。

視察研修会では、高山市の「飛騨高山おいしいお米プロジェクト」の会員のほ場を見学し、食味向上に向けた取り組みの説明を受けた後、食事をしながら相互の交流、情報交換を行った。

また、中山間農業研究所では、水稲品種「きぬむすめ」と「ゆうだい21」の説明を受けた後、ほ場で水稲の研究状況や水位センサー、草刈機などスマート農業機器を見学した。

当研究会は、平成28年度に設立された研究組織で、「郡上おいしい米コンテスト」や全国規模のコンクール等に参加し、会員の技術向上や郡上産米の知名度向上に貢献している。農業普及課では、設立当初から研究会の活動を全面的に支援している。



【視察研修会の様子】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■就農支援 支援チームで就農状況を確認

農業普及課は、アグリチャレンジ支援センター・JAめぐみの・郡上市と連携して、8月に就業5年未満の新規就農者9名の経営状況確認を行った。対象となる就農者は、経営開始時期や栽培品目が異なり、また就農計画以上の好成績を収めている方や未達の方もいるが、それぞれの生産者に合わせて、抱えている問題や解決方法について助言を行った。

農業普及課では、今後も新規就農者の経営の安定化を図るため支援チームによる経営改善のための伴走支援を継続していく。



【聞き取り調査の状況】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■夏秋トマト トマト地域別研修会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会は、8月7～10日に各地域のトマトほ場4会場で研修会を開催した。

農業普及課からは、この先も気温が高く残暑が厳しいと予想されるため、かん水量を多くする等の高温対策の継続、及び樹勢に合わせた追肥の実施について助言を行った。

また今年も、病害、害虫とも例年より早く発生が見られるため薬剤防除や葉かきによる対策を各自で徹底するよう呼び掛け、昨年以上の収量を目指して支援を継続していく。



【トマトほ場での研修状況】

郡上農畜水産物のブランド展開

■ひるがのフラワーサークル トルコ部会が目揃え会を実施

高鷲町でトルコギキョウを栽培する生産者6名が集まり、8月2日に出荷目揃え会が開催された。

出荷階級や等級、箱詰めの際の注意点などについて部会員が収穫した花を調整しながら確認した。また今年から新しい出荷規格を設けており、栽培して感じたメリット、デメリットを共有し合った。農業普及課からは産地で問題となっている土壌病害の対策として、9月に土壌還元消毒の試験を行うことを周知した。

農業普及課では技術情報提供や調査試験を通じて、高品質安定生産を支援する。



【目揃え会の様子】

■夏だいこん 生産出荷組合品種試験を支援

令和5年産ひるがの高原だいこんの出荷も、中盤から後半にさし掛かってきている。7月中旬に梅雨明けをして以降、猛暑が続き干ばつ傾向で推移したため、生産者はほ場のかん水作業を行って生育の維持と品質向上に努めた。

成年部を中心に新品種試験を実施しているが、今後、地球温暖化によるさらなる気温の上昇も想定されており、将来高温時でも生育良好で品質の良い品種の導入も検討していく必要があると考えられる。

農業普及課では、品種試験の支援を継続するとともに、夏場の高温対策についても検討し、だいこんの安定出荷や品質の安定を確保できるよう支援を行っていく。



【品種試験ほ場の様子】